



マネージャとアシスタントの挿入

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用して、Cisco Unified Communications Manager で Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能を管理する方法について説明します。BATを使用すれば、プロキシ回線または共有回線のいずれかで、マネージャとアシスタントに IP フォンを追加できます。

Cisco Unified CM Assistant 機能は、いくつかの Cisco Unified IP Phone モデルおよびデバイス プロファイルで機能します。Cisco Unified CM Assistant では、Cisco Unified CM Assistant 機能と共に使用するために、マネージャとアシスタントの回線を設定するモードが2つ提供されています。

- プロキシモード：マネージャのプライマリ ラインは、アシスタントの電話機上に異なる電話番号を持つプロキシ回線と関連付けられます。「[Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線モードでの電話機のセットアップ](#)」を参照してください。
- 共有回線モード：マネージャとアシスタントには、それらの電話機上に、同じ電話番号とパーティションを使用する共有回線があります。「[Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ](#)」を参照してください。
- [Cisco Unified Communications Manager へのマネージャ/アシスタントアソシエーションの挿入 \(1 ページ\)](#)
- [マネージャとアシスタントの挿入関連のトピック \(3 ページ\)](#)

Cisco Unified Communications Manager へのマネージャ/アシスタントアソシエーションの挿入

新しいマネージャ/アシスタントアソシエーションを挿入するか、既存のアソシエーションを更新するには、CSV データファイルが必要です。

マネージャ/アシスタントアソシエーションの更新時に、BAT はインターコム電話番号や関連するデバイスに関する既存の Cisco Unified CM Assistant 回線設定を変更しません。



注意 アシスタント電話機が、最小 Cisco Unified CM Assistant 構成をサポートするのに十分な回線を備えていない場合は、マネージャ/アシスタントアソシエーションに問題が発生します。

始める前に

1. 次の2つの手順のいずれかを使用して、マネージャとアシスタントの電話機がすでに設定されていることを確認します。
 - [Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線モードでの電話機のセットアップ](#)
 - [Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ](#)
2. 新しいマネージャ/アシスタントアソシエーション固有の詳細を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [マネージャ/アシスタント (Managers/Assistants)] > [マネージャ/アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants)] の順に選択します。
[マネージャ/アシスタント オプション (Manager/Assistant Options)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この一括トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** マネージャがエクステンション モビリティを使ってログインする場合は、[マネージャがエクステンション モビリティを使用するように設定 (Configure managers as mobile managers)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** すべての電話機が共有回線を使用する場合は、[共有回線の使用 (Uses shared lines)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [オプションの挿入 (Insert Options)] 領域で、作成した CSV データ ファイルのタイプを選択します。
 - [デフォルト (Default)]: 標準の CSV データ ファイルを作成した場合は、CSV ファイル内のデータに基づいてこのトランザクション用のアソシエーションのタイプを選択します。
 - 1 人のマネージャに 1 人以上のアシスタントを割り当て (Associate one or more assistants to one manager)
 - 1 人のアシスタントに 1 人以上のマネージャを割り当て (Associate one or more managers to one assistant)

- [カスタム (Custom)] : プロキシモード用のカスタム CSV データ ファイルを作成した場合。

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐにマネージャ/アシスタント アソシエーションを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) 後でマネージャ/アシスタント アソシエーションを挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 8 マネージャ/アシスタントレコードを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュールしてアクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

注目 BATがアシスタントまたはマネージャの設定を更新するときに、使用可能な回線が不足している場合は、変更が部分的にのみ完了し、トランザクションレコード全体に問題が発生します。

次のタスク

変更を反映するには、Cisco Unified CM Assistant サービスを再起動する必要があります。

関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [マネージャ - アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)
- [マネージャとアシスタントの挿入関連のトピック \(3 ページ\)](#)

マネージャとアシスタントの挿入関連のトピック

- [Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線モードでの電話機のセットアップ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Assistant の共有回線モードでの電話機のセットアップ](#)
- [マネージャ - アシスタント関連付け用 CSV データ ファイル](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)
- [BAT ログ ファイル](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。